

障害のある人のゆたかな地域生活の実現を!

よさのうみ福祉会広報誌

きょうと福祉人材
育成認証制度



福祉よさのうみ

第98号

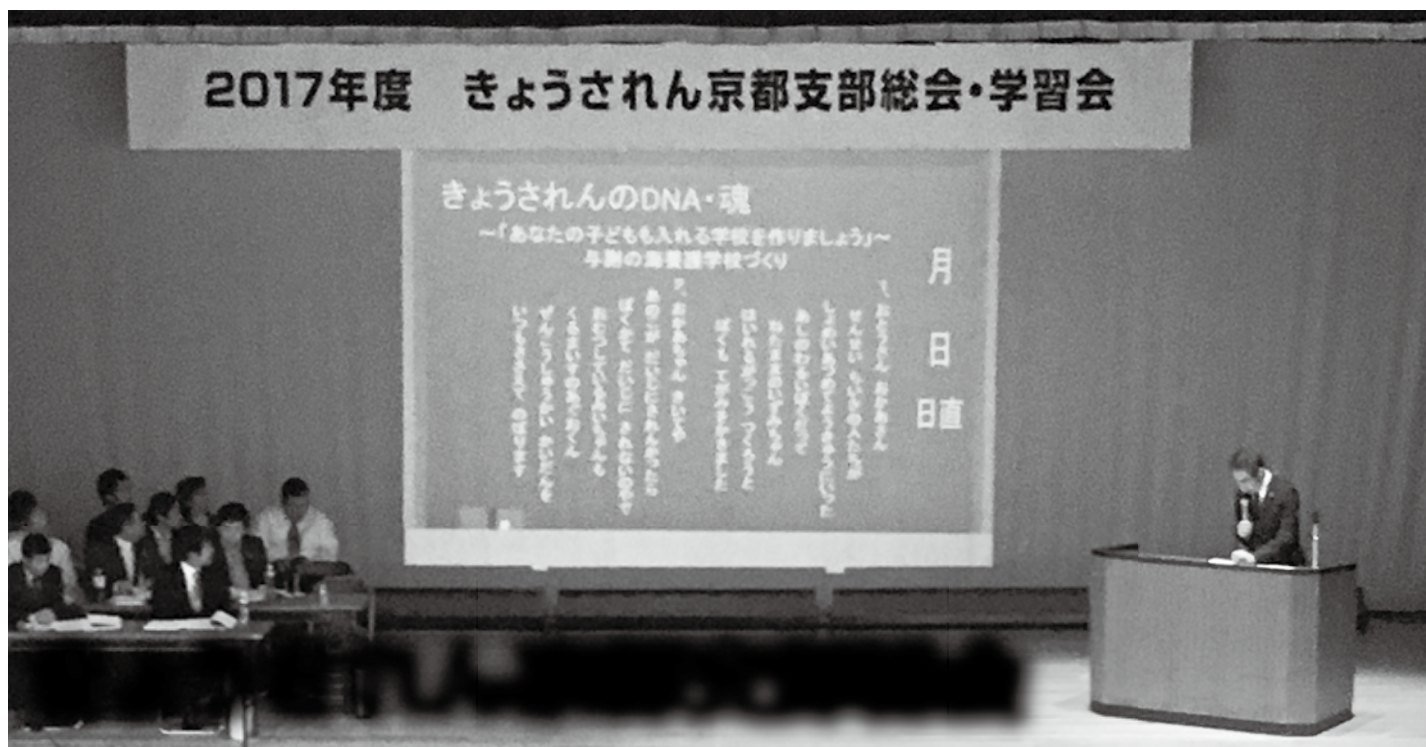
2017(平成29)年7月1日

発行 ■ 社会福祉法人 よさのうみ福祉会

URL <http://www.yosanoumi-fukushikai.or.jp>

〒629-2314 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600-6

TEL 050(3532)0601 FAX 0772(43)0606



きょうされん京都支部総会

2017年5月13日・14日 地元事務局として丹後ブロック奮闘!

尾藤弁護士記念講演



次年度のきょうされん全国大会in京都の実行委員長である尾藤廣喜弁護士による記念講演は、「京都大会に期待するもの―私たちがめざす共生社会とは―生活保護裁判を中心として」と題して尾藤弁護士が携わった生存権裁判などの事例を通してのお話でした。

これまで勇気をもって立ち上がった人の裁判を通じた闘いによって、生存権保障(憲法25条)を進めてきたことが具体的に語られました。

また生活保護基準引き下げは、生活保護利用者のみならず、最低賃金・年金額・就学援助等の基準・障害者福祉サービスに直結する非課税基準につながり、国民的な問題であること等を説明されました。

その上で、社会保障制度改革推進法は自助・共助が強調され、公的責任が放棄されるものであることを話されました。

そして、社会保障を取り巻く状況から次年度のきょうされん全国大会in京都で求められているものは何か、私たちの取り組むべき目標や課題は何かについてくわしく講演をしていただきました。

2016年度法人事業報告及び 決算概要説明

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(1) 2016年度は後期3カ年 計画実現の要の年

よさのうみ福祉会は、2012年3月、法人設立30年余の事業の到達をふまえ、新たに「よさのうみ福祉会のめざすもの」を制定しました。「めざすもの」を実現するため、2013年度から2017年度までの5カ年総合計画を、前期2カ年計画（2013～2014年度）と後期3カ年計画（2015～2017年度）に区切りました。2016年度は後期3カ年計画の中間年にあたり、後期3カ年計画を推進する重要な年度となりました。

後期3カ年計画期間は将来の経営環境の変化に対応し、より良い支援を続ける組織の基盤を築き、その定着を図る期間と位置づけ、次の3つを基本方針としています。

① 支援と実践を高める仕組みで、人が活きるより良い支援をめざします。

② 法人の規模を活かせる組織体系・管理体系の定着をはかります。

③ 経営を安定化させる財政の見通しを確保します。

(2) 多様な日中活動に向けた活動

後期3カ年計画では「多様なニーズや障害実態に即した日中事業所の機能分化、事業所の特徴の発揮」を目標としています。

2016年度「日中事業実践向

今年もメーデーに参加、パレードも行った

みやづ作業所 支援員 神谷 志乃

5月1日はメーデー

みやづ作業所は前身の宮津共同作業所開設以来ずっとメーデーに参加しており、今年も宮津市島崎公園で行われた宮津・与謝統一メーデーに仲間の代表7名と職員2名で参加しました。

自治会が中心となり取り組みを進め、各班で仕事の合間を利用し、プラカードやデコレーションのデザイン案を練っていきました。これは仲間の得意分野が発揮される時：「賃金アップ!」「もっと仕事がほしい!」「障害者に優しい町を!」どれも切実な願いです。その願いのもとに、今年も素敵に仕上がりました。

みごと金賞受賞! そしてパレードへ…

当日は多くの団体が集い、「すべての労働者に大幅賃上げを!」「最低賃金アップを!」などの要求が挙げられ、現状の改善が訴えられました。

みやづ作業所も利用者の思いが詰まった作品でアピール!作品表彰では、金賞をはじめ全ての班が

賞をいただくことができました。

賞金は各班での活動に活かします。

最後に「プラカード」「デコレーション」を持ちパレードに出発。自分たちの願いが叶うよう思いを込め40分かけて行進しました。

参加した仲間は「僕の夢が叶うといいな、たくさん給料がほしい」と話してくれました。

仲間の要求が実現し、これから仲間とのアイデアを取り入れていく取り組みが行えたらいいなと思います。

又、法人の与謝エリア・京丹後エリアの多くの事業所もメーデーに参加しました。



メーデーとは

労働者の祭典ともいわれ、労働組合が団結を示し、労働条件の改善や生活向上に関わる要望を掲げ、各地で集会やデモ行進を行います。米国で1886年5月1日に「8時間労働制」を求めてストをしたことが起源とされ、日本では1920年に東京で開かれたのが最初とされています。

③京丹後市での グループホームの検討

2016年度は京丹後市における3つ目のホーム建設のための場所や内容の検討を進め、場所探しや資金計画などの検討をおこないました。

(4) 居宅介護事業の充実に 向けた取り組み

2016年度は、3人のサービス提供責任者が「喀痰吸引等研修（第3号研修）」を受講、事業申請及び登録をおこない、医師の指示に従って対象者に支援をおこないました。しかし、ヘルパーの新規採用や法人内の異動による配置などが進められず、居宅介護事業に対するニーズに充分応えることができませんでした。

(5) 相談事業を通じた地域生活 の支援充実

未受診や障害受容に困難のある事例や生活困窮者などの相談が増えており、困難事例に対しては関係機関と連携した対応を進めています。また、計画相談は3箇所の相談事業所で計509名に計画作成及びモニタリングなど継続支援をおこないました。

(6) 職員育成

職員の育成は、法人5カ年総合計画の中でも極めて重要な課題とされ、法人の核である「支援」のあり方を左右する活動です。5カ年総合計画の前期2カ年の論議を通して「めざす職員像」を作成し、「めざす職員像活用委員会」はその内容を具体的な職員育成につなげていく仕組みづくりを進めています。2016年度は、生活支援員のOJT・職場内研修・職場外研修・自己啓発を通じた育成方法の検討、新任職員の1年間の育成計画検討、主任育成のための主任会議の開催などをおこないました。

(7) 働きやすい職場環境

2015年度全職員対象におこなったメンタルヘルス調査結果をふまえ、2016年4月より職員が身体と心の様々な相談ができるよう「総合健康相談窓口」を設置し、それに対応する職員健康委員会を法人内に設置しました。特にメンタルヘルス対策については、法人として「心の健康相談員」（元保健所相談員）を新たに配置するとともに、法人の看護師（衛生管理者）職員の衛生管理の



ための国家資格取得者）を相談窓口としました。

(8) 権利擁護・虐待防止・リスクマネジメント

法人内での虐待事例を通して法人の各機関会議や各事業所で論議を進め、日常の支援を振り返る機会をつくってきました。また、「リスクマネジメント・苦情解決・虐待防止委員会」が正式に発足し、法人内で発生した事故や苦情の検証、ホーム職員虐待防止研修など虐待防止の取り組み、職員セルフチェックリスト実施と分析などをおこなってきました。また、教育研修委員会による虐待防止のための、「全職員研修」、「管理者研修」、「アンガーマネジメント研修」をおこないました。

(9) 地域に根差し、地域に開かれた法人運営

① 作業所40周年記念事業

宮津共同作業所が開設して40周年をむかえ、3月19日に宮津会館において「作業所開設40周年」のイベントを開催しました。これまでの歴史を振り返り、地域の皆さんに感謝の気持ちを表し、地域との新たな関係づくりの第一歩となるこのイベントでは、仲間の構成詩、宮津高校吹奏楽部、プロのス

テージなどに約700人の来場者がありました。

② 福祉と地域と行政の連携「リフレかやの里」

2016年度には「滝・金屋農業振興会」と連携して、農産物の新たな加工品づくりのための急速冷凍機を導入し地域の農産物を使った製品づくりに取り組みました。10月には「リニューアルオープン5周年を祝う会」を利用者、職員、関係者で開催しました。

③ 地域共生型福祉施設

「やがの里」における4 法人間の連携

毎月の運営協議会を開催し4法人の連携と調整を図ってきました。毎月の協議会では地域との関わり、食事提供のあり方、「やすらふ保育所」の運営、見学者対応など、論議を進め連携して課題の解決を図ってきました。また、初めて区民対象の「認知症講座」を開催しました。

④ 「京丹後市障害者事業所製品販売連絡協議会」における連携

京丹後市内の4法人・9事業所の商品を一堂に集め販売している「クリエイティブショップづくり」において、峰山共同作業所商品の賞

味期限誤表示があり商品の回収をおこないました。法人内でも改めて食品を扱う上での商品管理の重要性が浮き彫りになり再発防止策を検討しました。また、連携する4法人、京丹後市、峰山商業開発株式会社と今後の対応策についての協議を進めました。

⑤ 「京都北部6福祉会」の交流・連携事業の継続推進

研究委員会による「京都北部職員研修会」（9月）をはじめとした様々な研修活動が開催され、当法人の研究委員もその成功にむけた役割を果たしました。また6福祉会交流・連携事業の事務局を2016年度は当法人が担い、年5回の「経営管理検討会」、7月の「6法人役員研修会」など6法人の交流や連携を深めることができました。

(10) 法人財政改善策

① 財政改善策検討委員会

2016年度に発足させた「財政改善策検討委員会」は、法人の財政状況の分析をおこない、さらに法人事業所の統合、新事業の開設、大規模改修、職員の給与体系など「財政改善総合計画」の作成にむけた準備をおこなってきました。また、法人財政の改善と安定化のために現在支出の8割近い人

件費を収支の状況に応じて管理し調整できるよう、人件費総枠を数値で設定し、それに基づいた人件費管理をおこなうことができる職員給与規定改定を検討してきました。

② 収入増のための取り組み

支援費報酬の28種類の加算制度をできるだけ活用しています。又在宅障害者への利用促進、魅力ある実践開拓、欠席しがちな利用者への適切な働きかけ、長欠者訪問などによる利用者増をはかりました。

③ 支出削減の取り組み

高額物品の支出（購入）に関しより良い製品をより安く取得するため、業者間の競争原理を基本とした入札や見積合わせをおこないました。

京都府の施設設備整備補助金の有効活用、民間助成金団体への助成申請を計画的におこなっています。

予算にない1件10万円を超える高額支出に関し管理者判断だけでなく法人事務局のけん制を行うなど、慎重な予算執行をおこなっています。

(11) 2016年度決算の特徴点

① サービス活動収益(収入)の特徴

就労支援事業収益（利用者作業の売上）、障害福祉サービス等事業収益（報酬、補助金、利用料等）、寄附金などのサービス活動収益は2016年度決算において142,486万円となり毎年増加しています。しかし、対前年度比の増加額は年々減少し、2016年度は1,769万円増に留まりました。

サービス活動収益のうち障害福祉サービス等事業収益についても毎年増加してはいますが、対前年度比の増加額は2013年度の4,144万円に比べ、2016年度は1,737万円になりました。事業別にみると共同生活援助事業について2016年度は前年度比約2,258万円の増加となり、これは「菜の花ホーム」の開設により年間延べ利用者数が前年度に比べ2,319人増加（合計20,137人）したことによるのです。一方で通所・入所の事業所について2016年度は前年度に比べマナス1,080万円となり、毎年増加していた収入がマナスに転じています。

より多くの利用者を受けいれる取り組みを通所・入所の各事業所で進めています。2016年度の年間延べ利用者数は前年度

に比べ2,177人減少し104,577人となったことが大きな要因です。「菜の花ホーム」の開設により「いきいき」短期入所の利用が減少し、さらに11箇所の通所事業所中7箇所の事業所の延べ利用者数が前年度に比べ減少しています。

② サービス活動費用(支出)の特徴

2013年度から2016年度の事業費・事務費は平均22,325万円で、2016年度は平均額を133万円上回る結果となりましたが、4年間で大きな増減はありません。一方で2016年度人件費は、正規職員や臨時職員の昇級による増額や「菜の花ホーム」開設等による職員増などにより、前年度比3,372万円増となりました。人件費は2013年度の86,860万円が2016年度は97,136万円となり、10,276万円増額しています。収入に占める人件費の割合も年々増加し2016年度は78.7%となりました。

③ 経常増減差額(収支差額)の特徴

収入は3年間で5,274万円（1年約1,758万円）の増加でしかないにも関わらず、人件費は3年間で10,276万円（1年約3,425万円）増額していま

す。また、「菜の花ホーム」建設などにより原価償却費も3年間で969万円増額しました。これらにともない収支差額は2013年度の5,834万円から2016年度は794万円となり収支差率は0.6%と極めて厳しい決算となりました。

④ 就労支援事業会計の状況

就労支援事業収益は2015年度比約238万円減の約19,100万円でした。

利用者工賃は、「リフレかやの里」就労継続A型利用者は総額約1,409万円、1人月額平均81,675円でした。それ以外の事業所の工賃総額は約5,119万円でした。その内就労継続B型事業所10箇所の利用者の平均時給は97円401円で、法人内事業所平均は時給185円、月給15,567円でした。

【事務局長 小谷勝己】



資金収支計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(単位：円)

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	191,525,582	190,964,903	560,679	
		障害福祉サービス等事業収入	1,211,853,402	1,216,701,239	△4,847,837	
		雑収入	6,506,674	6,847,878	△341,204	
		借入金利息補助金収入	505,908	630,116	△124,208	
		経常経費寄附金収入	10,329,784	10,346,274	△16,490	
		受取利息配当金収入	29,001	30,449	△1,448	
		その他の収入	9,906,718	9,810,040	96,678	
	事業活動収入計(1)		1,430,657,069	1,435,330,899	△4,673,830	
	支出	人件費支出	977,724,688	971,437,305	6,287,383	
		事業費支出	112,733,211	107,909,953	4,823,258	
		事務費支出	119,105,878	116,623,956	2,481,922	
		就労支援事業支出	191,481,683	191,151,848	329,835	
		利用者負担軽減額	223,200	128,263	94,937	
		支払利息支出	953,516	953,516	0	
		その他の支出	4,980,700	4,668,045	312,655	
事業活動支出計(2)		1,407,202,876	1,392,872,886	14,329,990		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		23,454,193	42,458,013	△19,003,820		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	11,599,312	11,943,914	△344,602	
		施設整備等寄附金収入	17,600,000	16,812,679	787,321	
		設備資金借入金収入	48,000,000	48,000,000	0	
		固定資産売却収入	207,000	207,000	0	
	施設整備等収入計(4)		77,406,312	76,963,593	442,719	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	14,716,000	14,716,000	0	
		固定資産取得支出	98,645,812	98,442,502	203,310	
		施設整備等支出計(5)	113,361,812	113,158,502	203,310	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△35,955,500	△36,194,909	239,409	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	36,095,668	△36,095,668	
		その他の活動による収入	38,350	570,640	△532,290	
		その他の活動収入計(7)	38,350	36,666,308	△36,627,958	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	800,000	800,000	0	
		長期貸付金支出	0	3,500,000	△3,500,000	
		その他の活動による支出	69,429	36,778,147	△36,708,718	
		その他の活動支出計(8)	869,429	41,078,147	△40,208,718	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△831,079	△4,411,839	3,580,760	
予備費支出(10)		0	—	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△13,332,386	1,851,265	△15,183,651		

前期末支払資金残高(12)	847,150,159	847,150,159	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	833,817,773	849,001,424	△15,183,651	

貸借対照表

平成29年3月31日 現在

社会福祉法人よさのうみ福祉会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	996,739,758	流動負債	144,934,562
現金	883,825	事業未払金	94,534,191
小口現金	732,845	その他の未払金	40,299,567
普通預金	677,412,562	1年以内返済予定設備資金借入金	8,716,000
定期預金	15,116,990	1年以内返済予定長期運営資金借入金	0
事業未収金	244,126,680	預り金	0
未収金	11,100,078	職員預り金	0
未収補助金	16,617,579	前受金	0
給食用材料	311,502	仮受金	1,384,804
商品・製品	3,841,051	固定負債	170,372,933
仕掛品	1,527,592	設備資金借入金	130,601,000
原材料	5,839,627	退職給付引当金	39,771,933
立替金	100,000	負債の部合計	315,307,495
前払費用	5,794,922	純資産の部	
短期貸付金	6,000,000	基本金	311,675,478
仮払金	7,334,505	国庫補助金等特別積立金	561,375,009
サービス区分間勘定	0	その他の積立金	59,185,950
固定資産	1,254,781,658	人件費積立金	7,000,000
基本財産	908,227,094	修繕積立金	17,185,950
土地	112,258,000	備品等購入積立金	7,600,000
建物	794,869,094	移行時特別積立金	27,400,000
定期預金	1,100,000	次期繰越活動増減差額	1,003,977,484
その他の固定資産	346,554,564	次期繰越活動増減差額	1,003,977,484
土地	6,585,000	(うち当期活動増減差額)	12,865,109
建物	58,250,008	純資産の部合計	1,936,213,921
建物附属設備	90,869,557		
構築物	13,701,392		
機械及び装置	6,402,733		
車輛運搬具	25,919,795		
器具及び備品	36,268,997		
建設仮勘定	0		
権利	4,128,569		
ソフトウェア	715,878		
投資有価証券	100,000		
長期貸付金	3,500,000		
退職給付引当資産	39,771,933		
人件費積立資産	7,000,000		
修繕積立資産	17,185,950		
備品等購入積立資産	7,600,000		
移行時特別積立資産	27,400,000		
長期前払費用	1,154,752		
資産の部合計	2,251,521,416	負債及び純資産の部合計	2,251,521,416

事業活動計算書

(自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

社会福祉法人よさのうみ福祉会

			(単位：円)		
勘定科目			当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	190,964,903	193,344,568	△2,379,665
		障害福祉サービス等事業収益	1,216,701,239	1,199,334,447	17,366,792
		雑収益	6,847,878	2,108,243	4,739,635
		経常経費寄附金収益	10,346,274	12,386,731	△2,040,457
		サービス活動収益計(1)	1,424,860,294	1,407,173,989	17,686,305
	費用	人件費	971,363,769	937,635,683	33,728,086
		事業費	107,947,845	109,120,203	△1,172,358
		事務費	116,623,956	111,581,452	5,042,504
		就労支援事業費用	196,378,216	200,015,974	△3,637,758
		利用者負担軽減額	128,263	272,998	△144,735
		減価償却費	70,497,063	60,581,191	9,915,872
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△41,169,230	△37,994,322	△3,174,908
	サービス活動費用計(2)	1,421,769,882	1,381,213,179	40,556,703	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		3,090,412	25,960,810	△22,870,398
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	630,116	552,742	77,374
		受取利息配当金収益	30,449	160,082	△129,633
		その他のサービス活動外収益	9,810,040	10,887,675	△1,077,635
		サービス活動外収益計(4)	10,470,605	11,600,499	△1,129,894
	費用	支払利息	953,516	899,413	54,103
		その他のサービス活動外費用	4,668,045	6,618,646	△1,950,601
		サービス活動外費用計(5)	5,621,561	7,518,059	△1,896,498
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		4,849,044	4,082,440	766,604
経常増減差額(7)=(3)+(6)		7,939,456	30,043,250	△22,103,794	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	11,943,914	66,696,560	△54,752,646
		施設整備等寄附金収益	16,812,679	21,508,091	△4,695,412
		固定資産売却益	207,000	720,000	△513,000
		その他の特別収益	0	34,864,179	△34,864,179
		その他の活動による収入	0	1,800,000	△1,800,000
		特別収益計(8)	28,963,593	125,588,830	△96,625,237
	費用	基本金組入額	14,612,679	22,418,025	△7,805,346
		固定資産売却損・処分損	11	26,740	△26,729
		国庫補助金等特別積立金積立額	9,425,250	62,374,464	△52,949,214
		その他の特別損失	0	13,907,731	△13,907,731
		その他の活動による支出	0	1,800,000	△1,800,000
		特別費用計(9)	24,037,940	100,526,960	△76,489,020
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		4,925,653	25,061,870	△20,136,217
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		12,865,109	55,105,120	△42,240,011
繰越額の活動増減差	前期繰越活動増減差額(12)		991,112,375	935,007,255	56,105,120
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,003,977,484	990,112,375	13,865,109
	その他の積立金取崩額(15)		0	1,000,000	△1,000,000
	備品等購入積立金取崩額		0	1,000,000	△1,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1,003,977,484	991,112,375	12,865,109

ご寄付御礼

みなさまからのご寄付、誠にありがとうございます。
2017年3月25日～6月15日

(順不同・敬称略)

松本潤一郎 田中孝子
平井阿子 奥田加津美
小田栄子 小石原江里子
松本潤一郎 森永幸代
三宅真奈美 青木一博
日下部みはる 西垣三衛子
引野充朗 上野谷加代子
亀井睦美 菅谷千恵子
寺阪久恵 大槻和之
山口高志 藤原弘
木成奈緒子 京近美里
笠次久代 平井弘美
山下智恵美 安田 勝

夢織りの郷を支える会 会長 川勝原一郎
夢織りの郷保護者会 代表 西原俊朗
峰山共同作業所みねやま作業所ゆうゆう作業所
るむを支える会会長 松村 繁

6月16日以降の寄付者は次号に掲載
します。

その他匿名でもたくさんのご寄付をいた
だいております。



編集後記

▼2017年度がスタートし
て、早や3か月が経ちました。新
しい職場で緊張してスタートされ
た方、新しい職員を迎えて気を引
き締めてスタートされた方、さま
ざまだと思います。お疲れは出て
いませんか?▼ある日の昼休みの
出来事。夏を感じさせるほどの暑
い日でした。アスファルトの上に
仰向けになつて寝転んでいる職員
がいるではありませんか!「自然
の力を借りた温熱療法」との教え
に、なるほどと思わず納得してし
まいました。私は時々岩盤浴に
行つてリフレッシュをします。そ
れに近い?自然の力を借りたアス
ファルト浴?興味を持たれた方は
是非お試しください。

▼「今年の夏は超暑いです!覚悟
してください!」と天気予報士のお
兄さんが笑顔で伝えていまし
た。「超暑い」つてどんな暑さなん
でしょう。熱中症などに気を付け
てみなさん乗り切りましょう。

▼本号より新たな広報委員メン
バーで『福祉よさのうみ』をお届
けします。よろしくお願い致しま
す。(な)

『あつという間に15年!利用者の笑顔に励まされて』

平成14年2月に職員として働き始
め、15年が経ちました。利用者さん達
に初めて会った時の無垢な笑顔と輝く
瞳は今でも深く心に残り、その笑顔に
励まされてきました。

入職した時は「ホームすみれ」が開
設される準備段階で、グループホー
ムという暮らしの場があること
や、世話人という職業があ
ることをこのとき

初めて知りました。

世話人として働く

中で、障害の有無

にかかわらず、地

域で普通に暮らす

という事について

深く考えさせられま

した。

入職当初は、自分の言葉で表せない
思いを様々な行動で表現される利用者
にとまどい、どうすれば信頼関係が築
けるのか悩みました。でもある時、悩
んでいるのは私ではなく、私に向き合
おうとしている利用者であることに気
づきました。その方が私にどう関われ
ばいいのか、とまどい悩んでいたので



障害者相談支援事業所 結 (宮津 結)

主任 山本 和子

目覚め、法人の「着物
サークル」に入り、着付
最近着物の良さに
いと思っています。

かけを楽しんでいます。人生の後半戦
を生きている今、自分のやりたいこと
を楽しんでやっていく!ということを
モットーに日々過ごしています。

今回は

みねやま作業所

主任 佐々木明雅です。

チームワークで3位入賞！スポレク大会

爆走！爆笑！がんばりました

野田川共同作業所

管理者 杉本 実信

「京都府下最大の大運動会」

5月21日(日) 第51回京都府障害者ふれあい広場「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」が府立丹波自然運動公園補助競技場にて行われました。府下全域の知的・身体・精神の障害のある人たちが14地域(チーム)に分かれて競技を楽しみ、また事業所の製品販売を通じて交流を深めました。

当日は天気良すぎて暑さを心配しながらも、山の新緑を窓越しに感じながら、会場に向かう車内では利用者・職員がワイワイガヤガヤとちよつとした旅行気分を味わいながらの参加になりました。



野田川共同作業所からは利用者19名と職員6名が「与謝チーム」(与謝野町・伊根町合同)で、「伊

根の里」と共に競技に参加し、6種類の個人競技と3種類の団体競技で優勝めざしががんばりました。

「誰が足がいたいって？」

団体競技であるフライングディスク投げでは練習を3回投げて3回命中、本番でも力を発揮した利用者があり、自分でもびつくりしながら大喜びでした。反対に練習では調子が良かったのに、本番で係員に「練習がよかったからいけるよ」と言われてプレッシャーを感じてしまい、残念ながら実力が発揮できなかった方もありました。

大玉転がしではふだん「足が痛い、腰が痛い」と言っている60代の利用者が皆のために爆走！すごい力を発揮してくれました。

出場した競技がすべて1位だったという方もあり、満面の笑みで、「また1位やったわ」ととてもうれしそうでした。どの競技もふだんの作業や生



活では見せることのできる力を利用者に見せてくれます。お昼はテントの中でいっ

ものの給食とは違う雰囲気です。水分的補給をこまめにしながらも、暑さのため横になって休む仲間もあり、体調には気を配りました。

高齢の仲間は歩く速度も落ちてきたなと感じていたのもなんのその、本番では全員がチームのために大活躍し、「与謝チーム」は総合結果3位の好成績を収めました。

スポレクは日頃見ることでできない利用者のいきいきした表情、笑顔が見られる、毎年恒例の楽しい行事です。今年も事故なく楽しいひとときを過ごすことができました。

リフレかやの里 森のレストラン

営業の変更について

6月より
毎週土・日・月・火曜日の
11時～15時

6月よりランチビュッフェ営業日が
毎週土・日・月・火曜日の11時～15時となります。

「リフレかやの里」は社会福祉法人よさのうみ福祉会が運営を始めて6年余が過ぎ、あらためて多くの方々に支えて頂いたことに感謝しています。

「リフレかやの里」の看板となるランチビュッフェは新鮮な地元産の材料を使った料理と、パン、ケーキ、ドレッシングまで全てに手間をかけ手作りしています。そんな中で、じっくりと季節の新メニューを開発したり、料理の下ごしらえをするために6月からは週4日の営業とさせていただきます。そして、週3日のお休みを準備の日として、職員、障害者たちの働き方の見直しと、何より、お客様に喜んで頂くために知恵を出し合うことにしました。

これまでの日々に感謝の思いを込めて、ゆっくりと一歩ずつ、充実した内容のサービスを提供し地元・丹後の自然と味を感じて頂ける場所にしたいと思います。